

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)  
**【単独 連携事業】**

市町名	真岡市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	「もおか環境パートナーシップ会議 環境保全活動」事業	総事業費	730,380	733,155	720,000	720,000	720,000	3,623,535
		うち市町支出額	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	3,600,000
		うち県交付金	360,000	360,000	360,000	0	0	1,080,000
2	真岡まちづくりプロジェクト事業	総事業費		755,937	2,074,000	3,500,000	3,500,000	9,829,937
		うち市町支出額		755,937	2,074,000	3,500,000	3,500,000	9,829,937
		うち県交付金		323,673	952,500	900,000	0	2,176,173
3	もおか木綿フェスタ	総事業費			1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000
		うち市町支出額			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
		うち県交付金			500,000	500,000	500,000	1,500,000
4	真岡いちごまつり	総事業費			4,143,000	4,143,000	4,143,000	12,429,000
		うち市町支出額			1,680,000	1,680,000	1,680,000	5,040,000
		うち県交付金			840,000	840,000	840,000	2,520,000
5	真岡市音楽祭	総事業費			3,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000
		うち市町支出額			3,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
6	桜町陣屋跡ふれあい保存と活用事業(尊徳さんの田んぼで米づくり体験事業)	総事業費			741,091	741,091	741,091	2,223,273
		うち市町支出額			400,000	400,000	400,000	1,200,000
		うち県交付金			200,000	200,000	200,000	600,000
7	真岡井頭マラソン大会	総事業費			7,116,000	7,116,000	7,116,000	21,348,000
		うち市町支出額			2,236,000	2,236,000	2,236,000	6,708,000
		うち県交付金			1,118,000	1,118,000	764,000	3,000,000
8	栃木SC支援事業	総事業費			1,091,000	1,091,000	1,091,000	3,273,000
		うち市町支出額			600,000	600,000	600,000	1,800,000
		うち県交付金			300,000	300,000	300,000	900,000
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	730,380	1,489,092	19,985,091	21,411,091	21,411,091	65,026,745
		うち市町支出額	720,000	1,475,937	11,710,000	13,136,000	13,136,000	40,177,937
		うち県交付金	360,000	683,673	5,270,500	4,858,000	3,604,000	14,776,173

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	「もおか環境パートナーシップ会議 環境保全活動」事業
事業主体の名称	もおか環境パートナーシップ会議
代表者の名称	会長 上野 博正
事業主体の所在	〒321-4395 栃木県真岡市荒町5191
事業主体の概要	<p>・団体の目的:真岡市において「環境基本計画」が策定された際に、人と自然が共生して環境への負荷の少ない環境都市づくりを目指し、市民・事業者・行政が一体となって協働による住みよいまちづくりを進めることが目標として定められ、その役割を実行していくために「もおか環境パートナーシップ会議」が設立された。</p> <p>・設立年月日:2006年2月20日</p> <p>・構成員等:個人 60名、企業等 13団体</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・真岡市は、東に連なる八溝山地、西に流れる鬼怒川を抱えるなど自然豊かな都市であるが、市民がそのような自然環境を感じる機会は少なくなっている。</p> <p>・市民・事業者・行政の協働により保全活動を行い、真岡市の環境について再確認することで郷土愛の醸成を図ることができると考えるが、市民が環境保全活動など自然に触れ合う機会は少ない。</p>
事業目的	<p>市民・事業者・行政の3者の協働による環境活動を行う。</p> <p>本市の恵まれた自然環境を通して、市民の郷土愛を醸成するとともに、市外からの来訪者にその魅力を発信することで、市に愛着を持ってもらい、交流人口・関係人口の増加に繋げ、地域の活性化を図る。</p> <p>また、事業の実施する組織の支援を通して、市民等の自主的で持続的な活動を促進していく。</p>
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>当会は4つの部会を設けており、環境保全活動及び地球温暖化対策等への取組みを行っている。各部会・グループの活動内容については、下線部の内容を追加し、実施する。</p> <p>●大久保地区モデル事業部会：自然ふれあい園“大久保”での環境保全活動の実施</p> <p>花グループ：市民の憩いの場となるような花畑等の管理</p> <p>ホテルグループ：ホテルの棲める水辺環境の整備とビオトープ池の管理</p> <p>森グループ：里山林の整備と活用</p> <p>動植物調査グループ：大久保地区周辺の調査と資料の収集</p> <p>●環境学習推進事業部会：地球温暖化防止のために市民へのCOOL CHOICEの周知と環境学習会の開催</p> <p>●エコレポーター事業部会 環境状況を把握するため、不法投棄現地調査やマイバック持参率調査の実施</p> <p>●広報部会：広く市民に環境問題へ関心を持ってもらうため、活動情報を発信</p> <p>このほか、環境学習活動として、新たな連携企業等を増やすことで、工場見学など環境学習メニューを整え、市民等に環境問題について興味を喚起するとともに、市民・事業者・行政が一体となった取組を推進する。また、市内小中学校と連携し、環境出前講座を行い、気候変動の現状を理解してもらうと共に、自らできる取組み等を紹介して、脱炭素社会推進に力を入れている。</p> <p>加えて、先進地の視察も行い、団体の活動をよりよいものにしていく。</p> <p>【令和6年度以降】</p> <p>令和5年度に実施した活動を継続していくと共に、新型コロナウイルスの感染状況をみながら、環境学習会や学校への出前講座の実施規模拡大などを行っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる】</p> <p>観光PRの強化に加えて、本市ならではの産業、居住環境、自然環境等の特性や魅力を積極的に発信するシティプロモーションを推進する。</p> <p>【重要業績評価指数(KPI)】社会増減率 0.07%(平成30年度)→0.15%(令和6年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①環境保全活動の実施 ②地球温暖化防止のための環境学習会の実施 ③環境状況把握のための各種調査の実施 ④市民への環境の現状の周知(会報誌の作成等)	①環境保全活動の実施 ②地球温暖化防止のための環境学習会の実施 ③環境状況把握のための各種調査の実施 ④市民への環境の現状の周知(会報誌の作成等)	①環境保全活動の実施 ②地球温暖化防止のための環境学習会の実施 ③環境状況把握のための各種調査の実施 ④市民への環境の現状の周知(会報誌の作成等)		①環境保全活動の実施 ②地球温暖化防止のための環境学習会の実施 ③環境状況把握のための各種調査の実施 ④市民への環境の現状の周知(会報誌の作成等)
事業費	730,380	733,155	720,000	2,183,535	720,000
市町支出金(ソフト事業分)	720,000	720,000	720,000	2,160,000	720,000
うち県交付金	360,000	360,000	360,000	1,080,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	10,380	13,155	0	23,535	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	小池 宏祐
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支精算書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「もおか環境パートナーシップ会議 環境保全活動」事業	
対象年度	5	年度

## 1 収入の部

科目	予算額	備考
市交付金	720,000	
計	720,000	

## 2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	20,000	20,000	10,000	0	・環境学習会 講師謝金
旅費	20,000	20,000	10,000	0	・先進地視察 交通費
消耗品費	250,000	250,000	125,000	0	・環境保全活動用品 (軍手・ごみ袋等) ・環境学習会用品 (工作キット等) ・環境調査消耗品 ・事務用品
燃料費	15,000	15,000	7,500	0	・刈払機用燃料
印刷製本費	200,000	200,000	100,000	0	・アンケート印刷 ・会報誌印刷
修繕費	100,000	100,000	50,000	0	・活動備品用倉庫 修繕 ・環境保全機器 修繕 (刈払機等)
通信運搬費	15,000	15,000	7,500	0	・アンケート郵送 ・会報誌郵送
備品購入費	100,000	100,000	50,000	0	・刈払機 2台購入
				0	
				0	
計	720,000	720,000	360,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単独事業調査)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡まちづくりプロジェクト事業
事業主体の名称	真岡まちづくりプロジェクト
代表者の名称	事務局長 鶴見 幸代
事業主体の所在	〒321-4395 栃木県真岡市荒町5191
事業主体の概要	<p>団体の目的:市民協働、官民連携によるまちづくり活動に取り組み、中心市街地の活性化を図ることで、地域振興につなげる</p> <p>・設立年月日:令和4年3月1日</p> <p>・構成員等:構成員7名 事務局4名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・真岡市には真岡地区と二宮地区に中心市街地があり、そこには県指定文化財の岡部記念館「金鈴荘」(真岡地区)、二宮コミュニティセンター(久下田地区)等の活用されていない公共空間が多く存在している。</p> <p>・「選ばれるまちもおか」を実現するためには地域の担い手の創出・確保が重要である。本市においても少子高齢化が進展しており、地域の担い手が不足していることから、新たな人材の育成等を進めていく必要がある。</p>
事業目的	<p>中心市街地にある低未利用の公共空間を活用する集客事業などの社会実験を通して、中心市街地へ人を呼び込み、地域の賑わいを創出する。加えて、本事業を通じて、市民が自ら本市の魅力をデザインし、発信することを通して、シビックプライドの醸成及び新たな担い手の創出につなげていく。</p>
事業概要	<p>低未利用の公共空間の利活用を図るために、新たにメンバーを募集し、引き続き社会実験を通して、更なる市民協働の取組の推進を図る。</p> <p>【令和5年度】</p> <p>①市民の手によるまちづくり社会実験の実施 対象地:真岡地区中心市街地、二宮地区中心市街地</p> <p>②地元事業者とのイベントの開催</p> <p>③ユースプロジェクトとして、学生(高校生、大学生、専門学校生)を対象として、3期生となるメンバーを募集し、学生の目標での社会実験の実施及び新たな担い手の育成等を図る。(※本申請とは別事業)</p> <p>④新たに空き店舗を活用した拠点を整備することで、市民等のまちづくり活動の更なる推進を図る。</p> <p>【令和6年度】</p> <p>①令和3～5年度の活動を元に継続して取り組みを進める。</p> <p>【関係人口】I-a,d プロジェクトの参加者に宇都宮大学生など市外在住メンバーもいることから、市内、市外2つの目線で真岡市の魅力を創出することができる。また、学生目線での情報発信が行えることから、若者など普段真岡に訪れない層への誘客なども期待される。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標… 真岡市へ新しいひとの流れをつくる、安心で暮らしやすい時代に合った地域をつくる 移住・定住の促進に向けて、本市ならではの産業、居住環境、自然環境等の特性や魅力を積極的に発信するとともに、市民主体の活力ある地域づくり等を推進する。</p> <p>【重要業績評価指数(KPI)】社会増減率 0.07%(平成30年度)→0.15%(令和6年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	真岡まちづくりプロジェクトとして、令和3年度から引き続き、社会実験による中心市街地活性化を図る。	真岡まちづくりプロジェクトとして、令和4年度から引き続き、社会実験による中心市街地活性化を図る。	真岡まちづくりプロジェクトとして、令和5年度から引き続き、社会実験による中心市街地活性化を図る。		真岡まちづくりプロジェクトとして、令和6年度から引き続き、社会実験による中心市街地活性化を図る。
事業費	755,937	2,074,000	3,500,000	6,329,937	3,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	755,937	2,074,000	3,500,000	6,329,937	3,500,000
うち県交付金	323,673	952,500	900,000	2,176,173	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	小池 宏信
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡まちづくりプロジェクト事業	
対象年度	4	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	2,074,000	真岡市交付金
計	2,074,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	105,000	105,000	52,500	0	社会実験消耗品費等
燃料費	17,000	17,000	0	0	拠点ガス等燃料費
印刷製本費	200,000	200,000	100,000	0	社会実験広告チラシ印刷費
光熱水費	41,000	41,000	0	0	拠点電気代・上下水道代
通信運搬費	62,000	62,000	0	0	拠点電話使用量 郵便料
委託料	1,100,000	1,100,000	550,000	0	社会実験設営等委託
使用料及び賃借料	349,000	349,000	150,000	0	拠点インターネット・NHK等 県交付金分社会実験会場使 用料と機器リース代
原材料費	200,000	200,000	100,000	0	社会実験原材料費(テー ブル・椅子等の作作用の木材 等)
				0	
計	2,074,000	2,074,000	952,500	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

別表

栃木県わがまちつながり構築事業交付金 対応表

別記様式第1号-2

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	もおか木綿フェスタ
事業主体の名称	真岡商工会議所
代表者の名称	真岡商工会議所 会頭 篠原 宣之
事業主体の所在	〒321-4305 真岡市荒町1203番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地区内における商工業者の共同社会を基盤とし、商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資し、もって我が国商工業の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:昭和35年8月27日</p> <p>・構成員等:本商工会議所の地区内で事業活動を行う団体及び自己の名をもって事業活動を行う個人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・江戸時代に隆盛を極めた「真岡木綿」は、真岡市を代表する地域資源であるが、後世に継承していくには市内外に真岡木綿の魅力を発信し、担い手の確保を図っていく必要がある。</p> <p>・コロナ禍により観光入込客数は減少している中、アフターコロナを見据え中心市街地に賑わいを創出するためには商店街と観光資源(真岡木綿、SL、文化財など)が連携して誘客を促進していく必要がある。</p>
事業目的	<p>イベント来場者に機織りなど様々な体験や真岡木綿の製品の展示販売などを通して真岡木綿のPRを図るとともに商工会議所、商店会連合会、観光協会が連携して取り組むことで賑わいの創出及び観光誘客の促進を図り、市内外の来訪者に本市の魅力を感じてもらう。本イベントを通して真岡木綿等の魅力を知ってもらうことで、織姫の確保や市民の郷土愛の醸成を図るとともに、市外からの交流人口・関係人口の増加につなげ、地域の活性化につなげる。</p>
事業概要	<p>【令和5(2023)年度】</p> <p>①金鈴荘での織姫の作品発表・真岡木綿製品の展示販売</p> <p>②真岡木綿の機織り体験等</p> <p>③商店会連合会と連携した抽選会</p> <p>④真岡市観光協会との連携(着物でまちあるき)</p> <p>ポスター等を市内商業施設に掲示することで、広く市民への周知を行うことで「真岡木綿」へ触れ合う機会の創出を図る。また、市公式SNS等を活用することで市外に向けた情報発信も行い、来訪者の増加を図る。</p> <p>【令和6年度以降】</p> <p>令和5年度の活動を元に継続して取組を進める。</p> <p>【関係人口】I-a-d</p> <p>市内外から人を呼び込み「真岡木綿」の魅力を知ってもらうことで、担い手の確保に図るとともに、イベントを通して来場者に中心市街地を周遊してもらうことで、地元商店街の賑わいの創出等につなげる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】真岡市へ新しいひとの流れをつくる</p> <p>【KPI】年間観光入込客数 299万人(平成30年度)→305万人(令和6年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①金鈴荘での織姫の作品発表・真岡木綿製品の展示販売 ②真岡木綿の機織り体験等 ③商店会連合会と連携した抽選会	①金鈴荘での織姫の作品発表・真岡木綿製品の展示販売 ②真岡木綿の機織り体験等 ③商店会連合会と連携した抽選会	①金鈴荘での織姫の作品発表・真岡木綿製品の展示販売 ②真岡木綿の機織り体験等 ③商店会連合会と連携した抽選会		①金鈴荘での織姫の作品発表・真岡木綿製品の展示販売 ②真岡木綿の機織り体験等 ③商店会連合会と連携した抽選会
事業費	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	1,100,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	100,000	100,000	100,000	300,000	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課 総合政策係
担当者名	小池 宏祐
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	<a href="mailto:sougouseisaku@city.moka.lg.jp">sougouseisaku@city.moka.lg.jp</a>

別表

栃木県わがまちつながり構築事業交付金 対応表

別記様式第1号-4

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	もおか木綿フェスタ	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	1,000,000	
体験参加料	100,000	
計	1,100,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	110,000	62,000	31,000	48,000	手指消毒、インクカートリッジ等
燃料費	2,000	0	0	2,000	展示用花瓶借用・返却時ガソリン代
食糧費	50,000	0	0	50,000	弁当及び飲み物
広告費	430,000	430,000	215,000	0	ポスター、PR広告等
手数料	13,000	13,000	6,500	0	各種支払時振込手数料、クリーニング
委託料	237,000	237,000	118,500	0	警備、煙火 等
使用料及び賃借料	258,000	258,000	129,000	0	会場設営、会議室使用料、作品展示費等
				0	
				0	
				0	
計	1,100,000	1,000,000	500,000	100,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

別表

栃木県わがまちつながり構築事業交付金 対応表

別記様式第1号-2

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡いちごまつり
事業主体の名称	真岡いちごまつり実行委員会
代表者の名称	会長 荻田 聡
事業主体の所在	〒321-4395 真岡市荒町5191番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:いちご狩りを主体とする地産地消を含めた事業を計画し、「いちご日本一」を誇りとする市民の協働による「いちごまつり」を開催すること</p> <p>・設立年月日:平成18年3月30日</p> <p>・構成員等:(1)市内及び芳賀郡内に在住、在勤、在学する者で本会の目的に賛同する者又は組織、団体等 (2)市内においていちごを生産する者及び市内に在住していちごを生産する者で本会の目的に賛同する者 (3)その他、実行委員会に必要と認められる者</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	日本一のいちごの産地として、54年連続日本一を誇る栃木県の主幹を担う真岡市では、生産技術の向上により単収を上げることで、いちごの販売額も年々増加傾向にある。しかし、少子高齢化の進展に伴う後継者不足や離農者の増加により、生産者数は減少の一途を辿っており、交流人口の増加等により、新規就農者及び帰農者の確保を図っていくことが喫緊の課題となっている。
事業目的	生産者と市民のつながりを強化するとともに農商工が一体となった地域の団結力の醸成を図り、併せて地域資源を活かした市の活性化を図ること
事業概要	<p>【令和5年度】 日程:令和5年5月21日(土) 会場:真岡市二宮コミュニティセンター 内容:60分間食べ放題のいちご狩り(応募抽選1,500名)…会場からいちごハウスまでの移動はシャトルバスを利用 模擬店の出店、いちごを始めとした農産物等の販売 尊徳太鼓の演奏など各種イベントの開催 など ※真岡市農産物販売交流施設いがしら(あぐりっ娘)と道の駅にのみやにおいていちご関連イベントを同日開催。 会場でアンケートに協力してくれた方に、あぐりっ娘と道の駅にのみやで利用できる200円分のクーポンを配布。 報道機関や、市内量販店・金融機関、郡内町役場、県内道の駅などにポスター・チラシを送付し、掲示・配布を依頼。</p> <p>【関係人口の分類型】I-a,d,e 近隣市町を含めて多くのいちご狩りへの応募があることから、本イベントを契機に市外から人を呼び込み、「いちご王国栃木の首都 もおか」の魅力の発信を行う。また、別会場での関連イベントの開催やクーポンの配布を行うことで、農商工親が連携して地域の活性化を図り、交流人口・関係人口の増加につなげるとともに本市の農産物の魅力に継続的に触れる機会を創出し、真岡市産の農産物への関心を引き付けることで就農関心層の裾野の拡大につなげる。</p> <p>【令和6年度以降】 令和5年度の実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人材を育て、しごとをつくり、安心して働ける環境をつくる</p> <p>【KPI】いちごの販売額 81.1億円(H30年度)→90億円(R6年度)、新規就農者数(累計) 110人(H30年度)→135人(R6年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	真岡いちごまつりの開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等	真岡いちごまつりの開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等	真岡いちごまつりの開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等		真岡いちごまつりの開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等
事業費	4,143,000	4,143,000	4,143,000	12,429,000	4,143,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,680,000	1,680,000	1,680,000	5,040,000	1,680,000
うち県交付金	840,000	840,000	840,000	2,520,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,463,000	2,463,000	2,463,000	7,389,000	2,463,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課 総合政策係
担当者名	小池 宏祐
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp



別表

栃木県わがまちつながり構築事業交付金 対応表

別記様式第1号-4

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡いちごまつり	
対象年度	令和5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	1,680,000	真岡市補助金 1,680,000円
協賛金	670,000	JALいちご部会 他
事業収入	1,500,000	いちご狩り参加費
繰越金	292,495	前年度繰越金
雑収入	505	預金利息等
計	4,143,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	1,400,000	450,000	225,000	950,000	協力者謝礼
消耗品費	200,000	150,000	75,000	50,000	事務用品等
食糧費	240,000	0		240,000	会議食糧費、 当日協力者食糧費等
印刷製本費	130,000	130,000	65,000	0	チラシ、ポスター印刷代
通信運搬費	40,000	30,000	15,000	10,000	郵送料
保険料	70,000	70,000	35,000	0	参加者保険料
委託料	230,000	70,000	35,000	160,000	開催合図花火打上委託、 警備委託料、清掃委託料
使用料及び賃借料	1,790,000	750,000	375,000	1,040,000	テント、仮設トイレ、バス借上料
原材料費	30,000	30,000	15,000	0	案内看板用材料
予備費	13,000	0		13,000	
計	4,143,000	1,680,000	840,000	2,463,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。  
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

別表

栃木県わがまちつながり構築事業交付金 対応表

別記様式第1号-2

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡市音楽祭
事業主体の名称	真岡市音楽祭実行委員会
代表者の名称	会長 音頭 玲子
事業主体の所在	真岡市荒町5191番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:市民の音楽文化活動への参加意欲を喚起し、地域文化の交流・発展に寄与する。</p> <p>・設立年月日:平成8年</p> <p>・構成員等:真岡市内で活動している音楽団体等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>平成7年に開催された国民文化祭吹奏楽の祭典を契機に、翌年の平成8年に第1回を開催し今年度27回目を迎える。多くの市民が音楽に親しむことができる事業であり、未就学児から一般音楽団体まで幅広い年齢層が出演し、コンクール形式をとらない出演者も観客も音楽を自由に楽しむことができる音楽祭として定着している。また、クラシックや和楽器、オカリナなど幅広いジャンルの演奏を行う団体が出演しており、多様な演奏を楽しむことができる機会となっている。</p> <p>一方で、自主的な音楽文化活動については、団員の高齢化や少子化による若年層の活動機会の減少などの課題があり、継続するためには、音楽文化活動の担い手の裾野を広げていく必要がある。さらには、近年のコロナ禍により各種イベントが開催を見送られることなどによる音楽文化活動に対する意欲の減退も懸念される。今後いかにして参加者や会員数を増やし、市民のだれもが文化芸術に触れ、親しむ機会を確保・拡充し、誇りと愛着の持てる地域コミュニティを築き、維持していくかを検討していく必要がある。</p>
事業目的	<p>・市民の音楽文化活動への参加意欲を喚起する。</p> <p>・地域文化の交流・発展に寄与する。</p> <p>・市民主体の運営組織活動により、市民の郷土愛と地域住民の連帯感を深める。</p> <p>・広域に事業を周知し本地域の知名度を高め、観光等による訪問や地域移住などの機運を高める。</p>
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>コロナ禍前は1日で実施していたが、リスク管理の面から2日間で開催する。あわせて、リアルなイベントの実施に加え、開催後に動画配信を行うことで参加者だけではなく、市民及び音楽文化に興味を持つ人々などに音楽文化活動が活発な真岡市の魅力の発信を行う。</p> <p>◎音楽祭の開催(令和5年11月11日(土)・12日(日))</p> <p>未就学児による和太鼓の演奏、小中学生による吹奏楽及び金管バンド演奏、高校生による吹奏楽および合唱、一般団体による様々なジャンルの演奏。</p> <p>・参加人数 約1,000人</p> <p>・参加団体 市内の幼稚園・保育園・認定こども園、小中学校、高等学校、本市に活動拠点を置く一般音楽団体 約25団体</p> <p>○開催前の主な取組</p> <p>・令和5年6月 第1回実行委員会 開催方法の決定及びホール練習の日程調整</p> <p>・令和5年8月 第2回実行委員会 演奏曲目決定、プログラム編成</p> <p>ホール練習開始</p> <p>・令和5年9月 ポスター・チラシ等による広報活動開始(ポスター50枚、チラシ5,000枚 県内文教施設等)</p> <p>・令和5年11月 リハーサル</p> <p>《音楽文化活動への参加意欲向上の取組》</p> <p>・未就学児から一般音楽団体まで幅広い年齢層の団体が、クラシックや和楽器など多様なジャンルを演奏・発表する音楽祭を、出演者自ら企画運営し、音楽を楽しむことを市民と広く共有する。</p> <p>《地域文化の交流・発展の取組》</p> <p>市内の小中学校や高校がそれぞれ合同演奏を行い、他校の児童生徒との貴重な交流の機会となっており、一般の団体も出演するため、演奏の仲間づくりができるとともに、世代を超えた地域との繋がりがより深まる。</p> <p>《真岡市に興味を持つ》</p> <p>・真岡市の魅力PR…観光パンフレットおよびシティプロモーション冊子の配布。</p> <p>・音楽文化活動とおした市民協働の取り組みについて、真岡の魅力と共にSNSを活用し広く情報発信を行う。</p> <p>【令和6年度以降】</p> <p>令和5年度の実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業継続を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>○基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる</p> <p>【KPI】年間観光入込客数 平成30年度299万人 → 令和6年度305万人</p> <p>○基本目標4 安心で暮らしやすい時代に合った地域をつくる</p> <p>【KPI】自治会加入率 平成30年度74.72% → 令和6年度70.0%以上</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	音楽祭の開催 ・参加団体受付 ※登録全団体参加 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等	音楽祭の開催 ・参加団体受付 ※登録全団体参加 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等	音楽祭の開催 ・参加団体受付 ※登録全団体参加 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等		音楽祭の開催 ・参加団体受付 ※登録全団体参加 ・プログラムの作成 ・広報宣伝等
事業費	3,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000	3,000,000
市町支出金	3,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000	3,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課 総合政策係
担当者名	小池 宏脩
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp

別表

栃木県わがまちつながり構築事業交付金 対応表

別記様式第1号-4

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡市音楽祭	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
真岡市交付金	3,000,000	真岡市交付金
計	3,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	50,000	50,000		0	協力者謝礼
消耗品費	350,000	350,000		0	事務用品等
食糧費	102,000	102,000		0	会議食糧費、 当日協力者食糧費等
印刷製本費	300,000	300,000	140,000	0	チラシ、ポスター、プログラム等 印刷代
通信運搬費	58,000	58,000		0	郵送料
保険料	12,000	12,000		0	参加者保険料等
委託料	1,912,000	1,912,000	860,000	0	舞台官管照明業務委託、児童生徒 送迎業務委託、楽器搬送業務委託 等
備品費	200,000	200,000		0	舞台備品等
予備費	16,000	16,000		0	
計	3,000,000	3,000,000	1,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	桜町陣屋跡ふれあい保存と活用事業(尊徳さんの田んぼで米づくり体験事業)
事業主体の名称	史跡桜町陣屋跡の保存と活用を考える会
代表者の名称	会長 猪野 忠秀
事業主体の所在	栃木県真岡市物井166-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 国指定史跡「桜町陣屋跡」の保存と有効な活用を考え、広くに二宮尊徳の功績を後世に伝えていくもの</li> <li>・設立年月日: 平成21年1月</li> <li>・構成員等: 団体会員5団体(二宮報徳会、一円融合会、桜町二宮神社氏子会、東物井管理組合、東物井区会)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	史跡桜町陣屋跡は、二宮尊徳が疲弊した農村の復興を目指し、見出した「報徳仕法」と呼ばれる手法を生み出した拠点である。報徳仕法は現代においても、SDGsと共通する合理性・発展性・先進性が認められ、再評価されているが、それを広く浸透させるのに課題がある。また、尊徳が耕した報徳田をはじめ、周辺の農地を耕作地として継承し、生きた田園景観を残していく必要があるが、将来的な担い手の確保に課題がある。
事業目的	「史跡桜町陣屋跡の保存と活用を考える会」を中心に、JA未来ちゃんクラブ、真岡北陵高校などが協力して、一般市民に昔ながらの米づくり体験を通して「報徳仕法」を学ぶ機会を与えることで、史跡の本質的価値を継承するとともに、「報徳仕法」の担い手の育成を図る。また、子どもたちや高校生などと協働で米づくり体験を行うことで、報徳田を始めとしたふるさと真岡の田園風景の魅力を伝え、参加者の郷土愛を育む取組とする。
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>尊徳田での農業体験を通して「ふるさと真岡」の魅力を伝えていく。田植えだけでなく、その後の除草やかかし作りを行うなど、定期的に作業を行うことで継続的に郷土に触れ合う機会を創出する。また、作ったかかしをコンテスト形式で期間を設けたうえで桜町陣屋跡の来場者などに投票してもらい、収穫祭で表彰を行う取組を行うことで、桜町陣屋跡に加え、かかしなど季節でかわる生きた田園風景の魅力を発信し、継続的な来訪者の獲得につなげる。</p> <p>第1回プログラム 田植え 5月28日 第2回プログラム かかし作り 7月2日 第3回プログラム 稲刈り 9月24日 第4回プログラム 収穫祭 11月5日</p> <p>産業祭にて「報徳米」の無料配付 11月23日 毎月第1水曜日に定例会開催 ○そのほか、二宮尊徳移住後200年を記念したイベントを開催することで、現代に通じる尊徳の偉業を広く市民等に発信する。</p> <p>【令和6年度以降】</p> <p>令和5年度に実施した内容に加え、二宮尊徳ゆかりの全国17市町によって組織される全国報徳研究市町村協議会と連携することで、相互の交流を図るとともに、関係人口の創出についても検討する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 真岡市へ新しいひとの流れをつくる</p> <p>KPI: 社会増減率 0.07%(平成30年度) → 0.15%(令和6年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R5年度	R6年度	R7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	桜町陣屋跡ふれあい保存と活用事業 ・田植え ・カカン作りコンテスト ・収穫祭	桜町陣屋跡ふれあい保存と活用事業 ・田植え ・カカン作りコンテスト ・収穫祭	桜町陣屋跡ふれあい保存と活用事業 ・田植え ・カカン作りコンテスト ・収穫祭		桜町陣屋跡ふれあい保存と活用事業 ・田植え ・カカン作りコンテスト ・収穫祭
事業費	741,091	741,091	741,091	2,223,273	741,091
市町支出金(ソフト事業分)	400,000	400,000	400,000	1,200,000	400,000
うち県交付金	200,000	200,000	200,000	600,000	
市町支出金(ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	341,091	341,091	341,091	1,023,273	341,091

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課 総合政策係
担当者名	小池 宏侑
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	<a href="mailto:sougoouseisaku@city.moka.lg.jp">sougoouseisaku@city.moka.lg.jp</a>

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	真岡市
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	桜町陣屋跡ふれあい保存と活用事業(尊徳さんの田んぼで米づくり体験事業)
-------	-------------------------------------

対象年度	5	年度
------	---	----

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
会費	25,000	団体会員5,000円×5
事業参加費	130,000	大人3,000円×20名 こども1,000円×70名
寄付金	30,000	推譲金
補助金	400,000	真岡市補助金
繰越金	155,091	令和4年繰越
雑入	1,000	
計	741,091	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	20,000	0	0	20,000	尊徳太鼓謝礼(田植え時)
旅費	150,000	150,000	75,000	0	尊徳移住200年イベント講師旅費等
消耗品費	374,000	155,000	77,500	219,000	田植え時材料費、案山子づくり材料費、収穫祭商品等
食糧費	100,000	0	0	100,000	会議、報徳サミット研修費、田植え等昼食代等
保険料	16,000	16,000	8,000	0	
通信運搬費	60,000	60,000	30,000	0	会員通知用ハガキ、封筒 など
使用料	2,000	2,000	1,000	0	公民館使用料
備品購入費	17,000	17,000	8,500	0	
予備費	2,091	0	0	2,091	
				0	
計	741,091	400,000	200,000	341,091	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡井頭マラソン大会
事業主体の名称	真岡井頭マラソン大会実行委員会
代表者の名称	委員長 山中 孝雄
事業主体の所在	〒321-4325 真岡市田町1251番地1 真岡市総合体育館内スポーツ振興課
事業主体の概要	・団体の目的:マラソンを通して市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供するとともに、本市のPRの場とすることを目的とする。 ・設立年月日:昭和59年 ・構成員等:市スポーツ協会陸上部、市スポーツ協会、市スポーツ推進委員会、市内小中学校代表、真岡ファミリー楽走会、井頭公園管理事務所、市職員等
当該事業に係る地域の現状と課題	本大会は、今年で第40回を迎え、市内をはじめ関東地区を中心に全国各地の多くのマラソン愛好者から親まれ、参加人数約2,000人におよぶ本市の秋の一大イベントとして定着してきた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により第37回大会から3年連続で大会が中止となっていることから、イベントを再開するにあたり参加者の再定着及び集客促進を図っていく必要がある。 また、本市では、井頭周辺エリア(いがしらリゾート)の活性化を進めており、大会を通じて周辺施設を知ってもらい、消費拡大や地域活性化に結びつけていくかが課題である。
事業目的	「市民ひとりスポーツ」の推進と生涯スポーツの振興を図るとともに、本市のPRや魅力を積極的に発信し、市外から本市を訪れるきっかけをつくり、来場者に興味をもってもらい、交流人口を増加させることで地域の活力の向上や地域産業の活性化につなげる。
事業概要	【令和5年度】 ◎真岡井頭マラソン大会の開催【関係人口:1-d】 下線部の内容を追加し、以下の事業を開催する。 ・開催日:令和5年10月1日(日) ・種目:一般10km・4km 中学生4km 小学生5・6年2km 親子ペア2km 計15部門 ・参加人数:約1,400人(市内420人、県内680人、県外300人) ※エントリー数 ・コース:井頭公園及びその周辺道路 《真岡市を訪れるきっかけ》 ○集客(広告・宣伝) ・チラシ3,100枚、ポスター100部作成。(益子芳星高等学校、茂木高等学校、上三川高等学校、上三川町立中学校数校、栃木県体育館、栃木県総合運動公園、スポーツショップ、下野新聞社、読売新聞社、とちぎテレビ等) ・HPに掲載 《真岡市に興味を持つ》 ○来場者に対し、真岡市の魅力PR…観光パンフレットの配布 中心市街地や観光地に足を運んでもらえるよう観光パンフレットを配布。また井頭公園に隣接する井頭温泉・チャットパレス(宿泊施設)・あく里つ娘(井頭フレッシュ直売所)に気軽に立ち寄ってもらえるよう観光パンフレットを配布し、マラソン大会以外でも楽しめることをPRし、何度も遊びに来てもらえるよう魅力を発信する。 ○観光PRできるブース設置 特産物やグッズ、いちごを使った商品の販売。 ○入賞や参加賞とは別に特別賞を設け、本市で生産された米や農産物を贈呈。 ○シティプロモーションによる真岡市の魅力PR…移住・定住者向け情報冊子等の配布 ○市公式Instagramに真岡の魅力を投稿し、写真を通して情報発信する。 ○いがしらリゾートのSNSを活用して情報を発信するなど、連携を図ることで周辺施設の活性化にもつなげる。 ○総合運動公園(陸上競技場・多目的広場・子ども広場・健康広場)のPR 【令和6年度以降】 令和5年度実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】真岡市へ新しい人の流れをつくる 【KPI】年間観光入込客数 平成30年:299万人 → 令和6年:305万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理	マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理	マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理		マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理
事業費	7,116,000	7,116,000	7,116,000	21,348,000	7,116,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,236,000	2,236,000	2,236,000	6,708,000	2,236,000
うち県交付金	1,118,000	1,118,000	764,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	4,880,000	4,880,000	4,880,000	14,640,000	4,880,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課 総合政策係
担当者名	小池 宏侑
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡井頭マラソン大会	
対象年度	5	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	2,236,000	真岡市補助金
参加料	4,252,500	大会参加者 一般 3,500円 × 1,025人 = 3,587,500円 親子 2,500円 × 110組 = 275,000円 中学生 1,500円 × 205人 = 307,500円 小学生 1,500円 × 55人 = 82,500円
繰越金	436,539	前回繰越金
雑入	190,961	広告料、預金利息等
計	7,116,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	2,550,000	0	0	2,550,000	参加賞、トロフィー、親子メダル、特別賞、交通指導員謝礼等
消耗品費	288,000	0	0	288,000	事務用品、大会用医薬品等
食糧費	253,000	0	0	253,000	昼食弁当代、スポーツドリンク、救護用飲料等
印刷製本費	585,000	400,000	200,000	185,000	開催要項3,100枚、ポスター100枚、プログラム1,700枚、封筒等2,000枚
通信運搬費	170,000	0	0	170,000	要項送料、参加通知書送料
手数料	1,000	0	0	1,000	両替手数料
委託料	2,390,000	1,136,000	568,000	1,254,000	エントリー計測業務、エントリー受付業務、花火打上等
使用料及び賃借料	820,000	700,000	350,000	120,000	テント等各種備品賃借料
備品購入費	30,000	0	0	30,000	大会運営備品
予備費	29,000	0	0	29,000	
計	7,116,000	2,236,000	1,118,000	4,880,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	栃木SC支援事業
事業主体の名称	栃木SC支援真岡市実行委員会
代表者の名称	委員長 岡本 俊夫
事業主体の所在	〒321-4325 真岡市田町1251番地1 真岡市総合体育館内スポーツ振興課
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 栃木SCの豊かな経験と卓越した技術をもとに、夢を持つことの大切さ、フェアプレー精神の重要性など、サッカーから様々なことを感じ学ぶとともに本市のPRの場とすることを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 平成20年</p> <p>・構成員等: 市サッカー協会、市商工会議所、市観光協会、市工業団地総合管理協会、栃木SC、市教育委員会</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>主要事業として、栃木SCホームゲームにおける「真岡市民デー」と「栃木SC親子サッカー教室」があり、いずれも今年で第16回を迎える。「真岡市民デー」は、参加者数約500人の無料観戦イベントであり、バスツアーや物産ブースでの本市特産品の販売などを行っている。「栃木SC親子サッカー教室」は、参加者約200名の市内小学生および親子参加による栃木SCの選手・コーチによるサッカー教室である。近年では、新型コロナウイルス感染拡大による入場制限試合やサッカー教室の中止を受けて参加者数が減少しており、今後の参加者数がコロナ前と同様に戻し、いかに増やしていくかが課題である。</p> <p>また、少子高齢化・人口減少が進む中、本イベントを通じて、真岡市の魅力発信を行い消費拡大や地域活性化に結びつけていくこととともに、いかに子どもたちの郷土愛の醸成を図るなどの振興施策を図っていく必要がある。</p>
事業目的	<p>「市民ひとり1スポーツ」をスローガンにスポーツの振興を推進し、「する」「観る」「支える」スポーツを通して、青少年の健全育成を図るとともに、イベントを通じて本市のPRや魅力を積極的に発信し、市外から訪れる来場者に興味をもってもらい、交流人口を増加させることで地域の活力の向上や地域産業の活性化につなげる。</p>
事業概要	<p>【令和5年度】関係人口F-d ◎真岡市民デー(第16回)の開催 下線部の内容を追加し、以下の事業を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>期 日: 9月3日(日)18時キックオフ</li> <li>会 場: 栃木県グリーンスタジアム</li> <li>対 戦: 藤枝MYFC(J2リーグ33節)</li> <li>招待者: 一般招待(市内小学生サッカーチーム、市内中学校サッカー部、市内小中学生(公募、保護者)、市関係者)</li> <li>バスツアー: 一般参加者並びに招待者の会場への送迎</li> <li>各種PR: 真岡市ブースにて、観光PR・特産品の販売・抽選会の実施</li> </ul> <p>真岡市ゆるキャラでのPR</p> <p>○栃木SC親子サッカー教室(第16回)の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>期 日: 7月下旬～8月中旬</li> <li>会 場: 真岡ハイトラ運動公園(総合運動公園)サッカー場、運動広場1</li> <li>対象者: 市内小学生とその保護者、市内小学生サッカーチーム所属の子供たち</li> </ul> <p>○イベントについて市広報誌のみならず市公式SNS等を活用することで、市内外に広くスポーツで盛り上がる本市の魅力を発信する。</p> <p>○親子サッカー教室に参加した子供たちやバスツアーに参加した市民等に応援用タオルを配布することで、スタジアムで一体となって盛り上がるスポーツの楽しみ伝えるとともに、他の観客にスポーツで盛り上がる真岡市の魅力を発信につなげる。</p> <p>【令和6年度以降】 令和5年度実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、だれもが活躍できる地域社会をつくる</p> <p>【KPI】真岡市で子育てしたいと思う親の割合 平成30年: 96.7% → 令和6年度: 98.0%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	真岡市民デーの開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等 栃木SC親子サッカー教室の開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等	真岡市民デーの開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等 栃木SC親子サッカー教室の開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等	真岡市民デーの開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等 栃木SC親子サッカー教室の開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等		真岡市民デーの開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等 栃木SC親子サッカー教室の開催 ・参加者の申込受付 ・広告宣伝等
事業費	1,091,000	1,091,000	1,091,000	3,273,000	1,091,000
市町支出金 (ソフト事業分)	600,000	600,000	600,000	1,800,000	600,000
うち県交付金	300,000	300,000	300,000	900,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	491,000	491,000	491,000	1,473,000	491,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課 総合政策係
担当者名	小池 宏希
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	sougouseisaku@city.moka.lg.jp



## 栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	真岡市
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	栃木SC支援事業
-------	----------

対象年度	5	年度
------	---	----

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	600,000	真岡市交付金
協賛金	150,000	
繰越金	340,366	前年度繰越金
雑入	634	預金利子等
計	1,091,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	160,000	100,000	50,000	60,000	市民デー応援用タオル代等
消耗品費	55,000	40,000	20,000	15,000	事務用品、サッカー教室用熱中症対策品等
食糧費	10,000	0	0	10,000	お茶代
印刷製本費	15,000	0	0	15,000	チラシ作成代
通信運搬費	20,000	0	0	20,000	切手代
使用料及び賃借料	450,000	200,000	100,000	250,000	市民データベース借上料 市民デー受付テント等一式
備品購入費	56,000	0	0	56,000	市民デー用レプリカユニフォーム代
補助金	280,000	260,000	130,000	20,000	市民デー物産出展費(市観光協会へ)
雑費	5,000	0	0	5,000	
予備費	40,000	0	0	40,000	
計	1,091,000	600,000	300,000	491,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合